

An aerial photograph of a city, likely Kobe, Japan, showing a dense urban area with a river winding through it. In the background, there are green mountains under a clear sky. The city is divided into two main parts by a wide river, with a large urban area on the left and a more developed, commercial area on the right.

播磨圏域 連携中枢都市圏

連携中枢都市圏の形成経緯について

主な国の動き

地方自治法の改正

→「連携協約」の制度を導入
(平成26年11月1日施行)

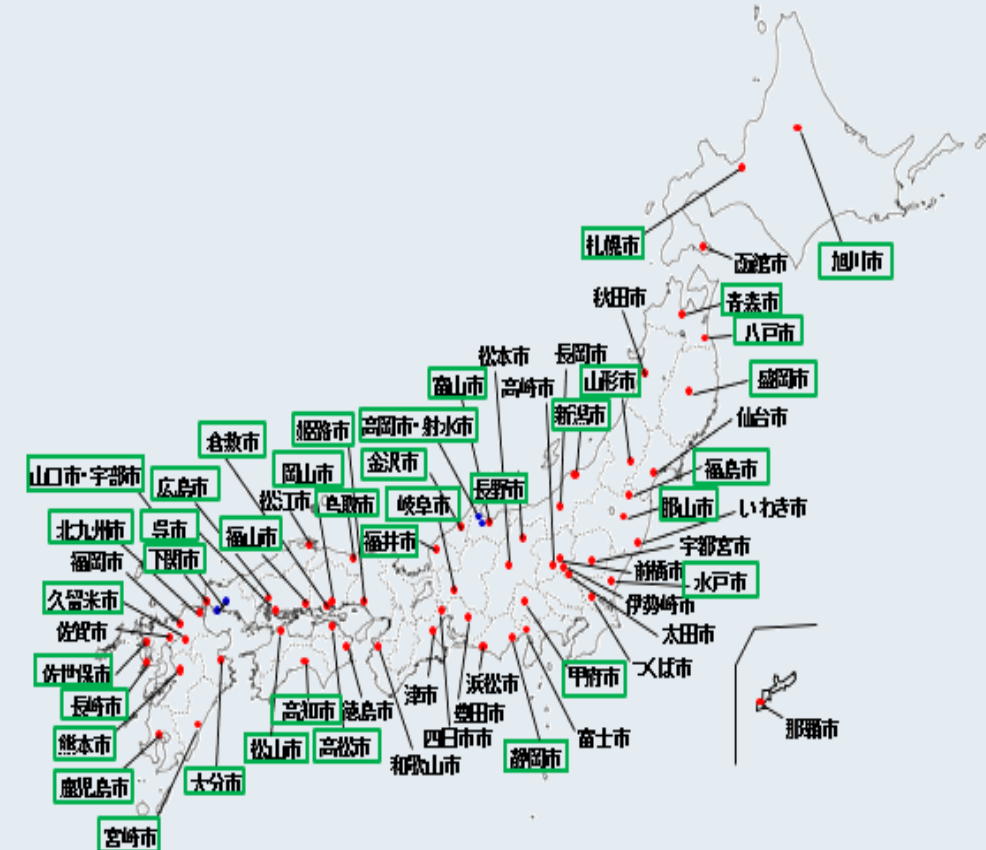
連携中枢都市圏の形成等の推進を支援

→国費による支援

地方交付税措置を講じた全国展開

令和6年2月1日現在、
38圏域において連携中枢都市圏を形成

 は、都市圏を形成している団体（38圏域）
 は、連携中枢都市の要件を満たす市（59市）



播磨圏域の形成について

- ・ 平成27年 播磨圏域連携中枢都市圏を形成

姫路市が「**連携中枢都市宣言**」を行う。

姫路市が連携中枢都市となり

7市8町と連携協約を締結

- ・ 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン

第1期ビジョン：平成27年度～平成31年度

第2期ビジョン：令和2年度～令和6年度

⇒ **現在は第2期ビジョンの最終年度**



成長戦略会議の位置づけ

播磨圏域が目指すべき将来像（播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン）

圏域各市町が、産官学金労言とも協力して、圏域全体の経済を活性化し圏域の魅力を高めるとともに、住民が安心して暮らすことができる圏域づくりを進め、活力ある社会経済を維持するための拠点となることを目指している。

3つの役割

圏域全体の経済成長
のけん引

高次の都市機能の
集積・強化

圏域全体の生活関連
機能サービスの向上

播磨圏域成長戦略会議

播磨圏域の産官学金労言の代表者により目指すべき将来像の実現にむけた意見交換等を行う

<播磨圏域における連携事業 5 6>

圏域全体の経済成長のけん引 (18事業)

- 播磨圏域経済成長戦略の推進
- 播磨圏域の情報発信
- 新産業の創出支援
- ものづくり支援事業
- 起業、創業、事業承継支援
- イノベーションを加速する産学官民の交流促進
- 海外展開への支援
- 「播磨地域ブランド」の確立
- 地場産品の販路開拓支援
- 圏域の観光動向の把握
- インバウンド観光の推進
- 他7事業

高次の都市機能の集積・強化 (6事業)

- 二次救急医療体制の確保
- 三次救急医療機関との連携
- 医療従事者の確保
- 姫路駅周辺整備事業の推進
- 都市交通システムの整備推進
- 市内大学及び連携大学支援

圏域全体の生活関連機能サービスの 向上 (32事業)

- 成年後見支援センター事業に関する連携
- スポーツ合宿、大会等の誘致促進
- 姫路市男女共同参画推進センター「あいめっせ」の利用促進
- 図書館の相互利用促進
- 若年者等の就業支援
- 救急搬送支援システムの広域化
- 環境意識の啓発
- 職員研修事業
- 他24事業

圏域全体の経済成長のけん引

播磨圏域の情報発信 (連携事業No.3)

▶サンテレビ「はりまサタデー 9」の放映、「はりま読本」の制作・配布など



はりま読本
(R5年度より小学生への配布はデジタル化)



播磨圏PR動画の制作・放映

圏域全体の経済成長のけん引

「播磨地域ブランド」の確立 (連携事業 No.11)

- ▶ 圏域内での醸造イベント・商談会の開催
- ▶ 地域醸造ガイドブック作成



「全国酒まつり in アクリエひめじ」の様子



播磨地域の酒蔵ガイドブック

高次の都市機能の集積・強化

姫路駅周辺整備事業の推進（連携事業No.22）

▶ 播磨の玄関口である姫路駅周辺の整備



J R 姫路駅北側のエントランスゾーン

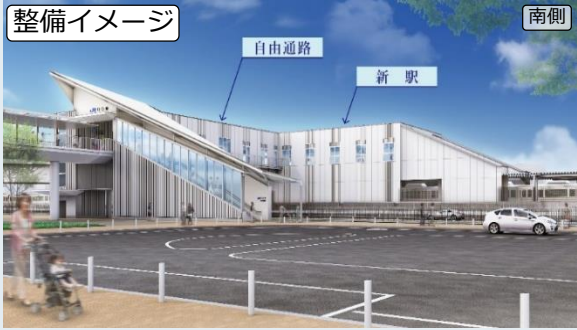


播磨圏域最大規模の文化コンベンション施設
「アクリエひめじ」が令和3年9月に開業

高次の都市機能の集積・強化

都市交通システムの整備促進 (連携事業No.23)

▶ 手柄山JR新駅の整備



	内容	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)
①	準備工 (周辺道路)					
②	駅舎・ホーム 自由通路					
③	駅前広場整備					
④	周辺道路					

R8春 新駅開業

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

救急搬送支援システムの広域化（連携事業No.43）

▶ 「HEARTS」システム構築、令和3年10月本格運用開始

救急隊と病院が傷病者の受入れ可能状況をリアルタイムで共有し、救急搬送時間の短縮を図る。



救急搬送システム操作の様子



指令センターでも確認可能

中・西播磨地域の消防本部（姫路市消防本局、西はりま消防本部、赤穂市消防本部管内）で運用中

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

公立夜間中学による就学の機会の提供（連携事業No.33）

▶22名の新入生を迎え、令和5年4月に開校

義務教育を受ける機会を実質的に保障することを目的として、公立夜間中学の設置及び運営を通じて、圏域内の多様な学びの場の充実を図る。

【姫路市の役割】

学校の設置及び運営、広報等を行う。

【連携市町の役割】

姫路市と連携して、学校の運営、広報等に協力して取り組む。

圏域内の住民に十分な広報を行い、広く義務教育の機会を提供する。
※令和6年12月現在、生徒数34名

概要

2023年4月

姫路市に夜間中学
「姫路市立あかつき中学校」が
開校します！

や かんちゅうがく
夜間 中学で
まな
学びませんか？

☆入学できる人（入学対象者）

入学する年の4月2日の時点で15歳以上の人で、

- ① さまざまな理由により、義務教育を修了できなかった人
- ② 不登校や病気等により、ほとんど学校に通えなかった人

※国籍は問いません。外国籍の人でも入学できます。姫路市外の人でも入学できます。

【所在地】

姫路市市之郷町二丁目34番地
（姫路市立東小学校北館）

【アクセス】

J R 山陽本線「東姫路駅」
北へ徒歩 約5分

公立夜間中学は、いわゆる「教育機会確保法」の施行とともに、全国的に設置が進められている。

兵庫県内には、以前から阪神エリアに3校設置されているが、播磨地域を主な対象エリアとする「姫路市立あかつき中学校」を令和5年4月に開校した。

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

広域連携バス路線網等の維持・形成 (連携事業No.45)

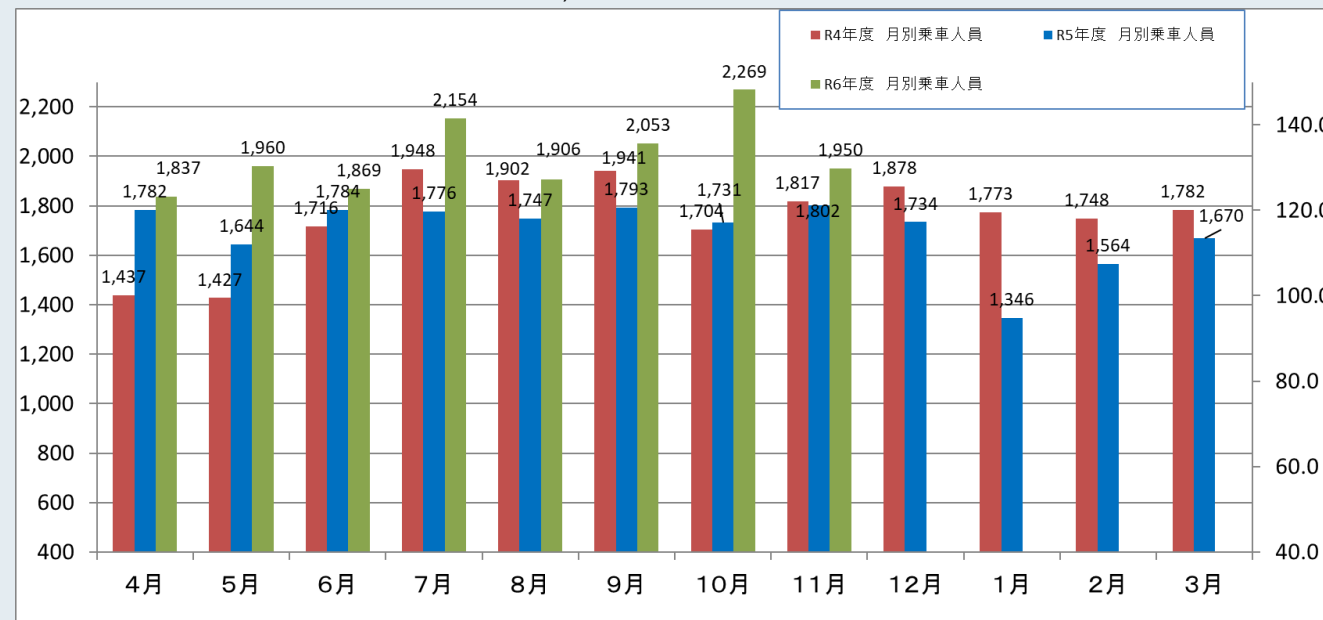
▶ 福崎町・姫路市連携コミュニティバス

令和3年 4月 本格運行開始

【料金】 1回 200円 (小学生及び福祉対象者 100円)

令和4年度に乗車人員が2万人を超え、地域住民の日常生活を支えている。

コミバスの乗車人員推移 (R4.1~R6.11)



公共交通空白・不便地域での移動困難者に対する課題解決に向け、社会実験やアンケート調査を経て、連携コミュニティバスを運行している。

